

サステナビリティ説明会

DX3.0事業のご紹介

デジタル社会資本創出による社会課題解決事業

株式会社 野村総合研究所

DX担当 常務執行役員

野口 智彦

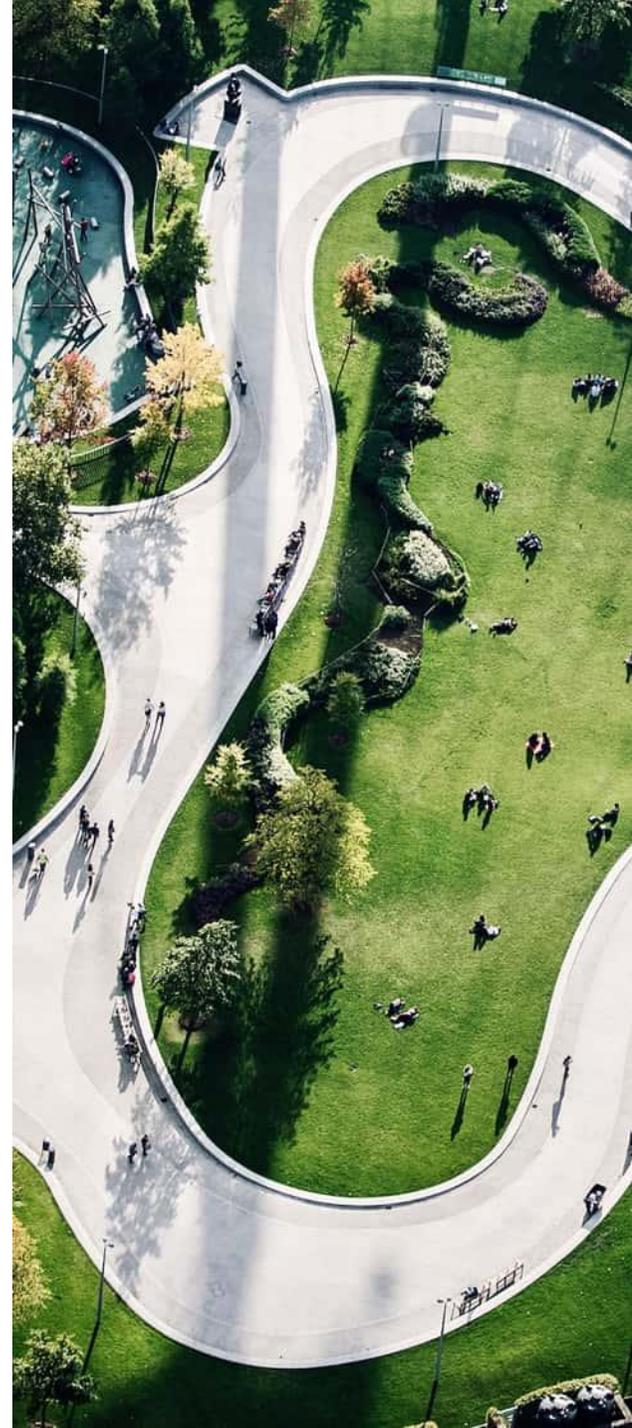
金融ITイノベーション事業本部 DX事業推進部長

片岡 佳子

2024年2月21日

NRI

Envision the value,
Empower the change



I DX3.0事業 背景と概要

- 1 なぜ今、社会課題解決事業なのか？
- 2 NRIが取り組むDX3.0事業とは？
- 3 NRIが挑戦する「デジタル社会資本」の創出とは？
- 4 社会課題解決を市場化するためには？
- 5 NRIらしい事業化アプローチとは？

II 事例のご紹介『森林クレジットにおける取り組みについて』

I DX3.0事業 背景と概要

1 なぜ今、社会課題解決事業なのか？

2 NRIが取り組むDX3.0事業とは？

3 NRIが挑戦する「デジタル社会資本」の創出とは？

4 社会課題解決を市場化するためには？

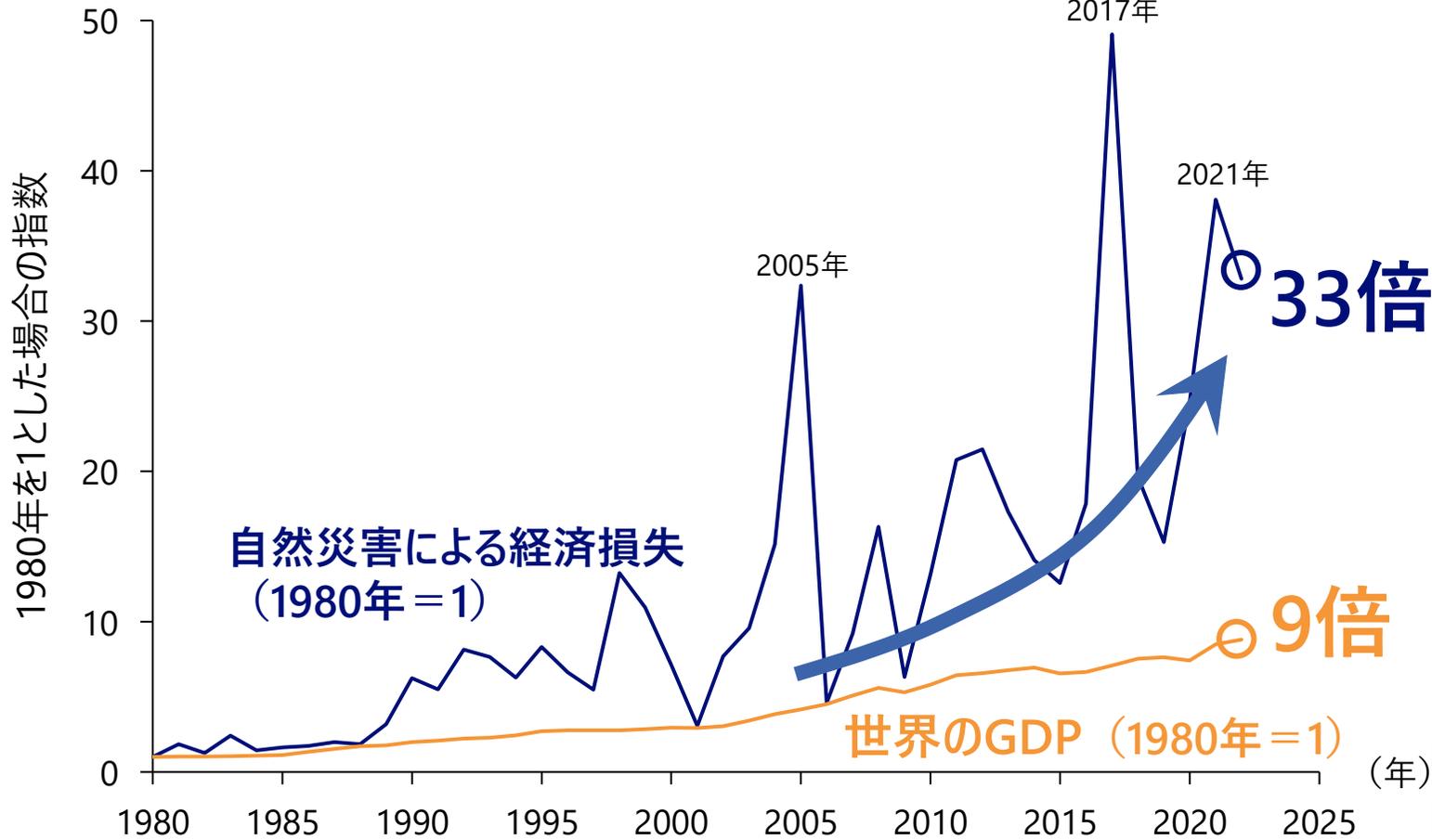
5 NRIらしい事業化アプローチとは？

II 事例のご紹介『森林クレジットにおける取り組みについて』

増大する「社会費用」

経済活動を一因とする自然災害の損失は年々拡大

自然災害による経済損失額とGDPの推移（世界全体）



2005年 米
ハリケーン (カトリナ)



2017年 米
ハリケーン (ハーベイ)



2021年 欧州
大洪水



注) 経済活動と関りがあると考えられる災害 (極端な気候、極端な気温、洪水、干ばつ、野火、地すべり) による損失額を図示 (地震、火山活動を除く)

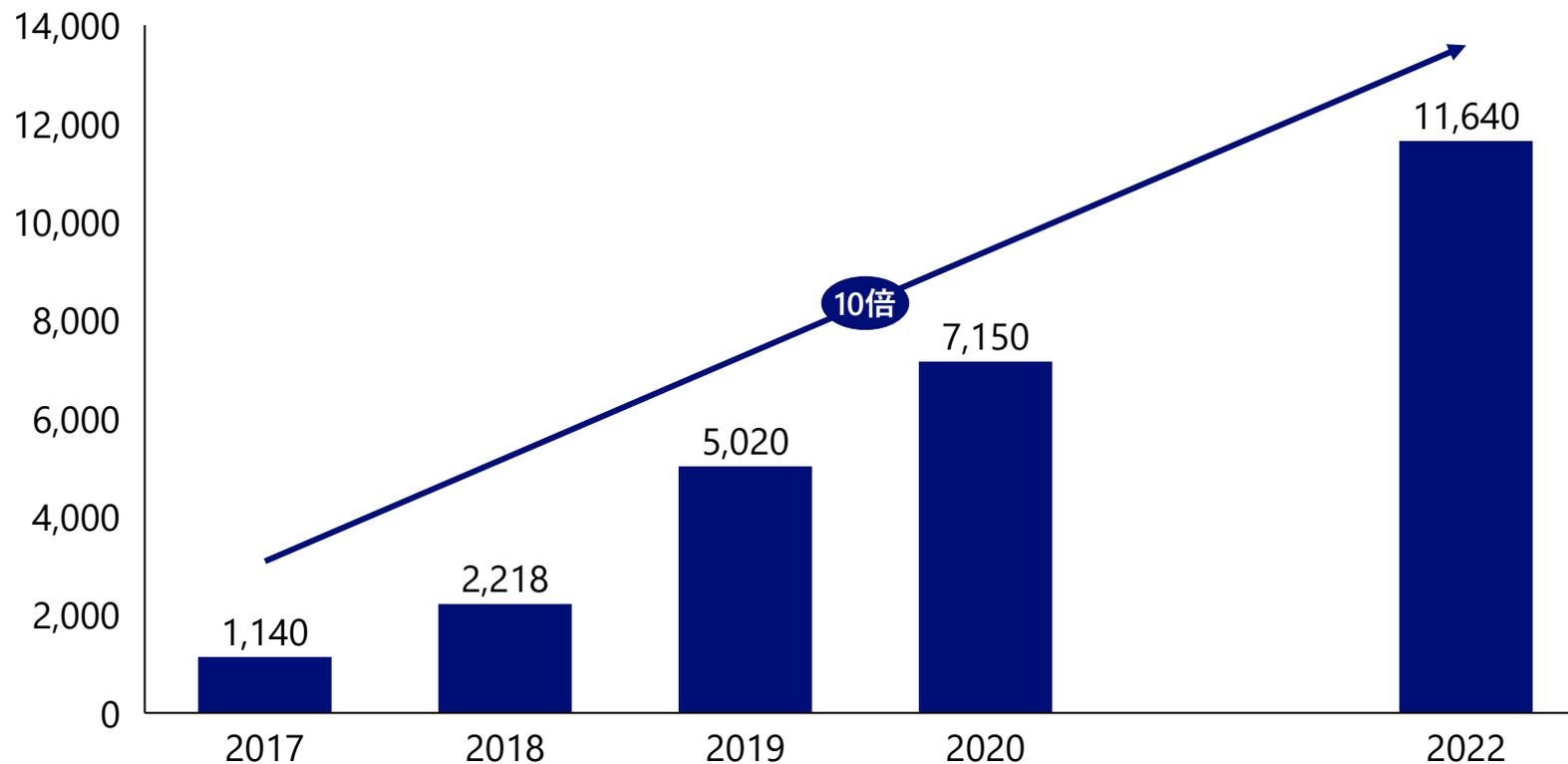
出所) EM-DAT, CRED / UCLouvain (2023)、GDPは世界銀行より (名目値)

この資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的とするものではありません。

世界のインパクト投資も拡大基調

世界のインパクト投資の市場規模※

(億米ドル)



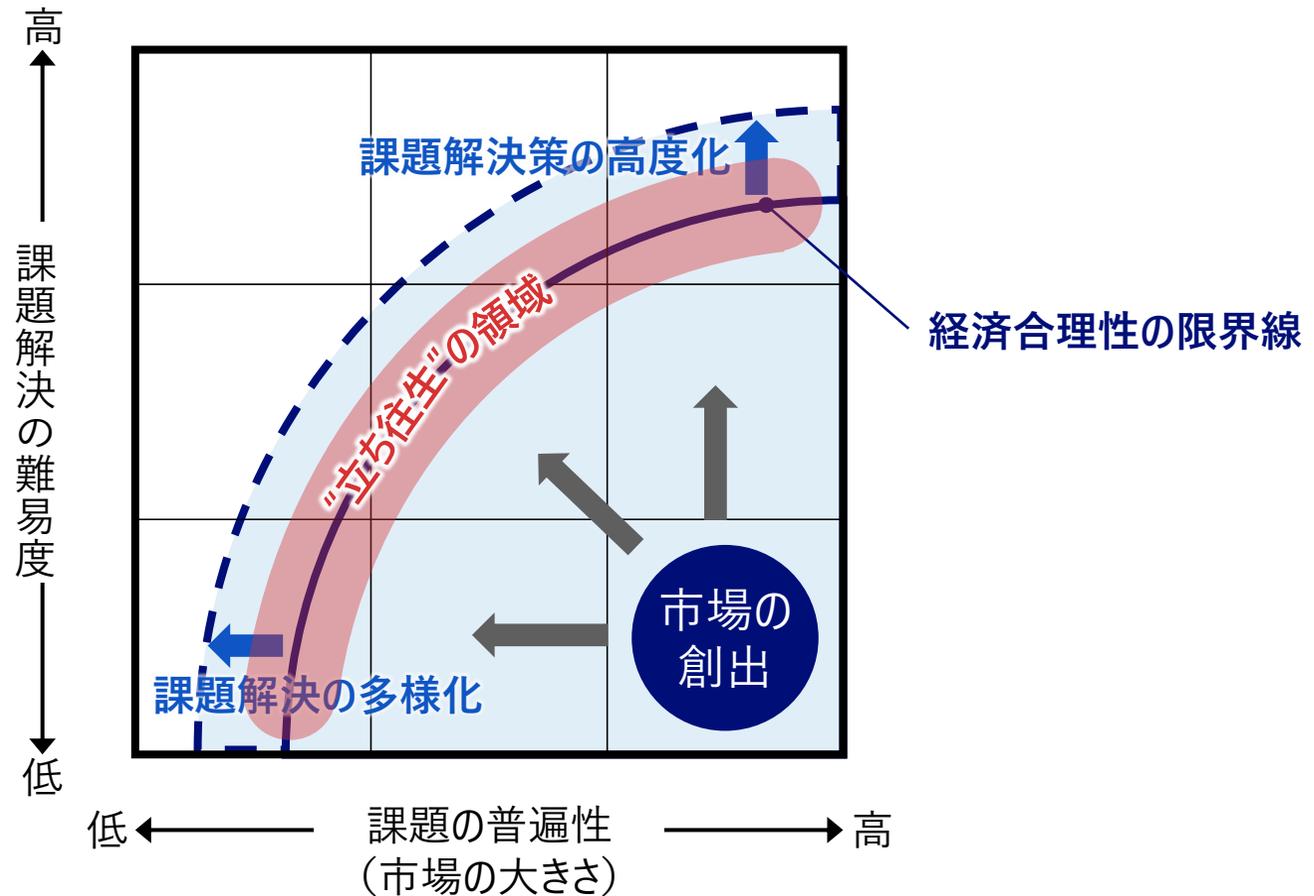
※：インパクト投資とは、財務的な収益を追求しつつ、社会的および環境的なインパクトの創出を目的とする投資

出所) 社会変革推進財団、インパクト投資の国内外の最新動向 (2022年11月30日)

この資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的とするものではありません。

社会課題は『経済合理性の限界での立ち往生』からの脱却の機会なのか？

経済合理性の限界



I DX3.0事業 背景と概要

1 なぜ今、社会課題解決事業なのか？

2 NRIが取り組むDX3.0事業とは？

3 NRIが挑戦する「デジタル社会資本」の創出とは？

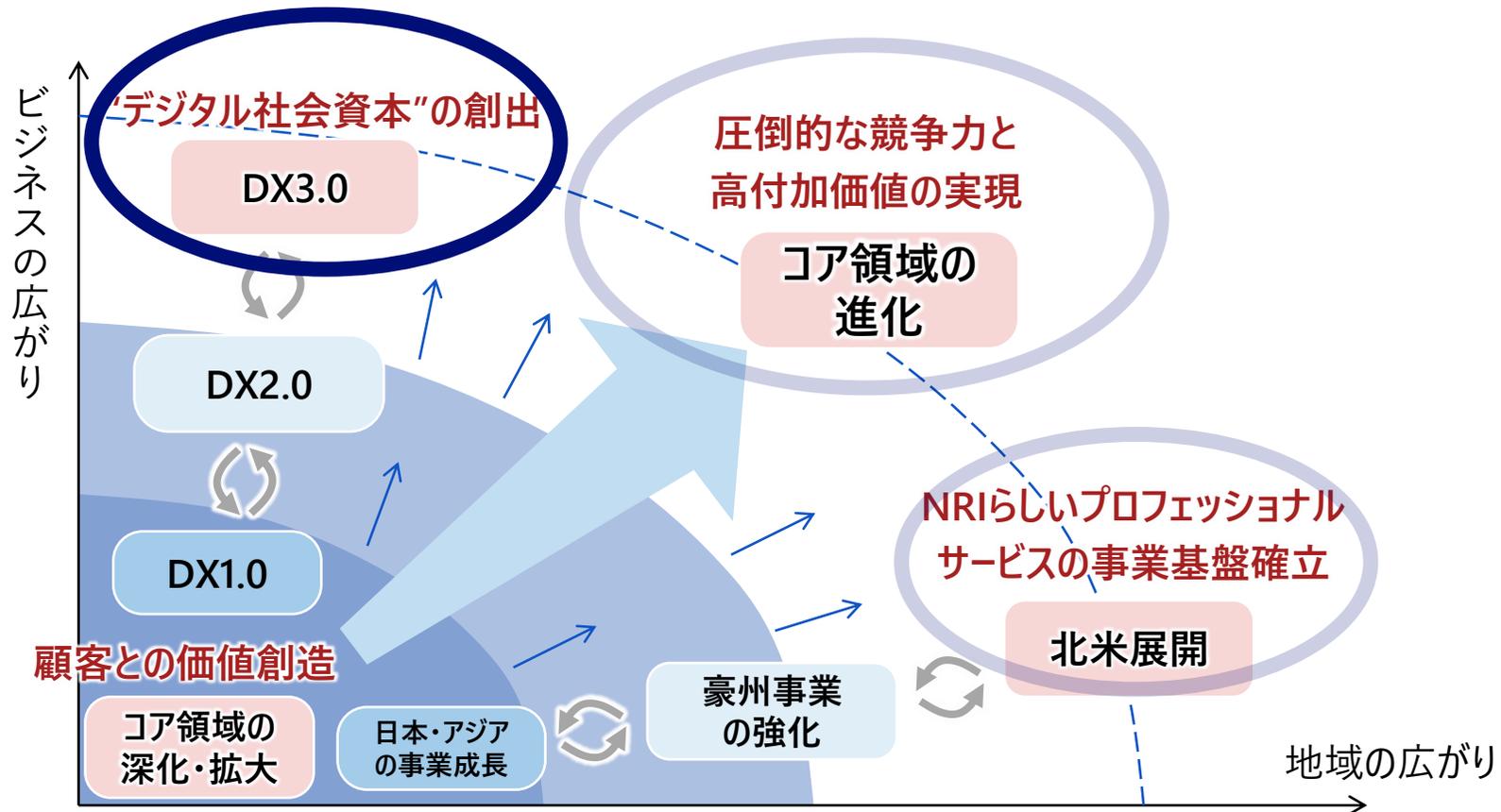
4 社会課題解決を市場化するためには？

5 NRIらしい事業化アプローチとは？

II 事例のご紹介『森林クレジットにおける取り組みについて』

DX3.0事業とは『社会課題を顧客と共に解決していく事業』

- コア領域は、**コンソリデーション**で顧客との価値創造をさらに深める (**深化・拡大**)。加えて、**ビジネスプラットフォームの拡大と抜本的な生産革新**で品質とサービスを高度化し、圧倒的な競争力と高付加価値を実現 (**進化**)
- DXは、DX1.0/2.0に加え、企業や産業を超えて社会にインパクトをもたらす**DX3.0**に挑戦
- グローバルは、アジア・豪州に加え、巨大かつ高い成長力をもつ市場である**北米**へと展開



出所) NRI Group Vision 2030より抜粋

この資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的とするものではありません。

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

顧客・業界の変革に加えて、社会の変革に挑戦

<p>社会の トランスフォー メーション</p>	<p>DX3.0</p>	<p>パラダイム変革</p>	<p>様々なパートナーとの共創を通じた「デジタル社会資本」の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ソーシャルDX (行政デジタル化、地域・空間のスマート化、金融サービスの広がり) ・ バリューチェーンDX (最適化/トレース、循環エコノミー) ・ インフラDX (インフラライフサイクル変革、金融インフラの創造と進化)
<p>顧客・業界の トランスフォー メーション</p>	<p>DX2.0</p>	<p>ビジネスモデル 変革</p>	<p>今までにないデジタルサービスの確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新たな業種横断型プラットフォームの構築 ・ 顧客の新たなビジネスモデルやエコシステムの実現
	<p>DX1.0</p>	<p>プロセス変革 インフラ変革</p>	<p>既存ビジネスの進化、新事業の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コンサル：マネジメントとデジタルの融合で企業変革を推進 ・ 金融：金融業界の再編に対応した金融BPFの進化 ・ 産業：デジタルIPの業界横断サービス化などさらなる高度化 ・ 基盤：デジタル・セキュリティなどの新サービス創出

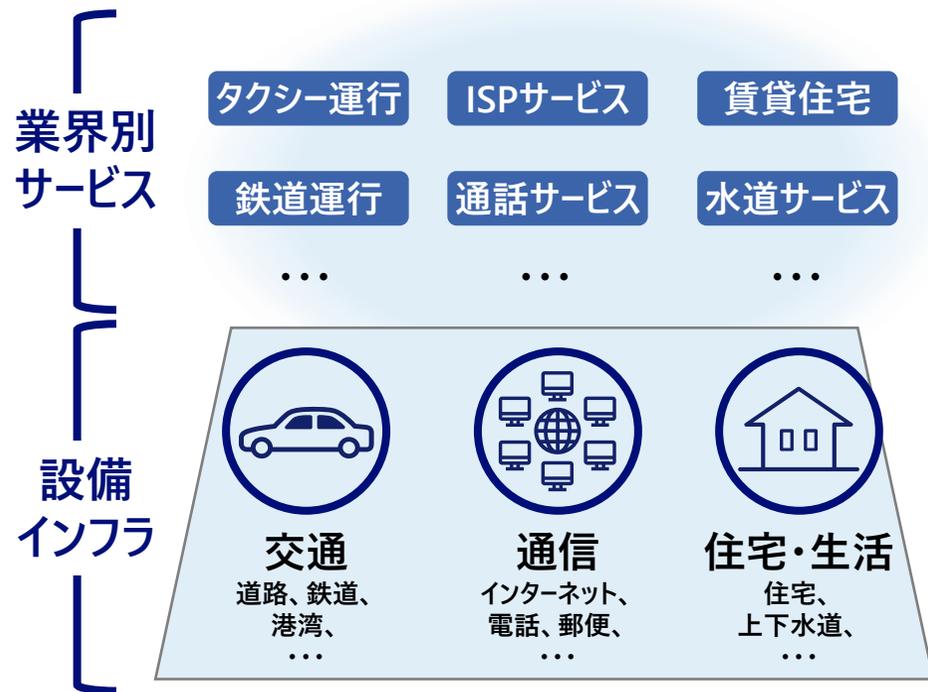
出所) NRI Group Vision 2030より抜粋

この資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的とするものではありません。

デジタル社会資本とは？

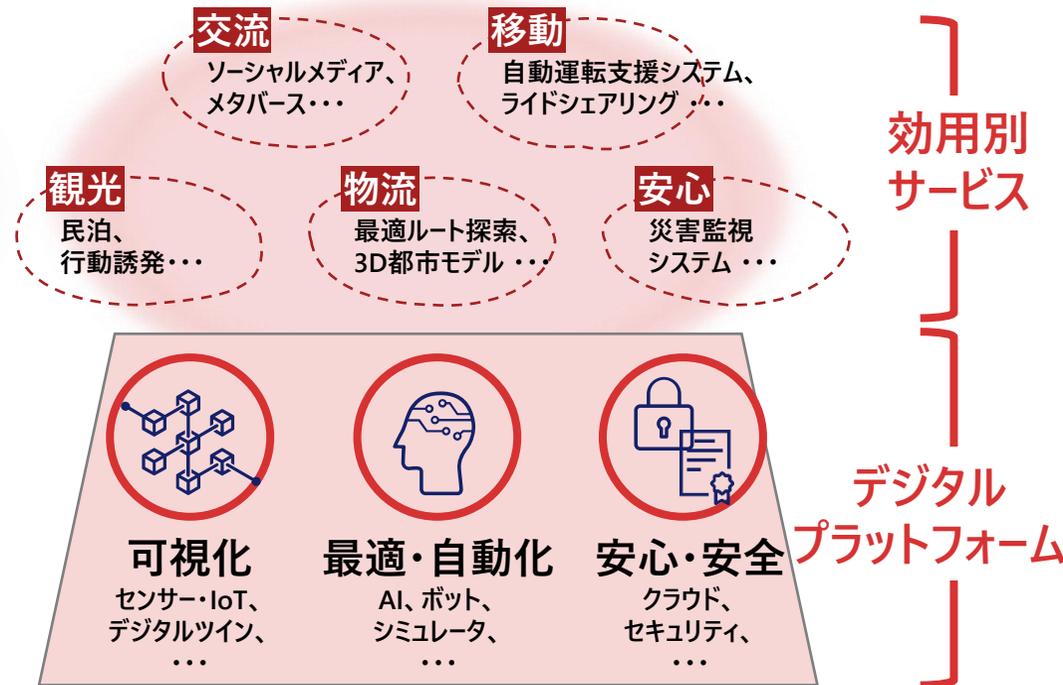
デジタル社会資本とはデジタルプラットフォームとその上に乗る無形のサービス群

(従来の) 産業社会資本



- 有形のモノ（ハードウェア）
- 機能別に構成
- 初期投資大

デジタル社会資本



- 無形のサービス（ソフトウェア）
- 効用別に構成
- 初期投資小⇒漸次拡大

I DX3.0事業 背景と概要

- 1 なぜ今、社会課題解決事業なのか？
- 2 NRIが取り組むDX3.0事業とは？
- 3 NRIが挑戦する「デジタル社会資本」の創出とは？
- 4 社会課題解決を市場化するためには？
- 5 NRIらしい事業化アプローチとは？

II 事例のご紹介『森林クレジットにおける取り組みについて』

DX3.0を通じて、デジタル社会資本の創出に挑戦

ソーシャルDX



未来に希望を持って生きることができる社会の実現

行政サービスのデジタル化

マイナンバーを基盤とした市民の利便性向上

本ご紹介

地方創生・地域スマート化

地方DXの推進、スマートシティなど社会基盤の充実

金融サービスの新たな広がり

デジタルアセットなどの金融資産の新たな活用拡大

バリューチェーンDX



未来にわたりひとと地球にやさしい産業の実現

バリューチェーン最適化/トレース

環境共生と経済効率の両立、CO2可視化

本ご紹介

サーキュラーエコノミーPF創出

資源有効活用による環境共生

インフラDX



生活や産業を支える社会インフラの安全安心の実現

インフラライフサイクル変革

持続可能でレジリエントな社会インフラ実現

CN※に資する金融インフラ創出

脱炭素など、市場の創造や高度化

※ カーボンニュートラル

ソーシャルDXでは、マイナンバーカードを基盤とした市民の利便性向上を実現

社会課題解決： オンライン空間での厳格な本人確認に基づく、諸手続きの実現

サービス

デジタル
プラットフォーム

【例】保険サービス（特定検診情報を利用した手続きのオンライン完結）



- マイナンバーカードを利用して、マイナポータルでの自己情報（特定検診結果）を提出
- 保険会社との契約手続きのオンライン完結を実現



- マイナンバーカードを活用した基盤の整備に伴い本人をデジタル空間で再現
- 税や社会保障のワンストップ化による利便性向上

マイナンバープラットフォーム

バリューチェーンDXでは、企業のCO2排出量管理を促進するビジネスを展開

社会課題解決：

正確かつタイムリーなCO₂排出量の算定と可視化

サービス

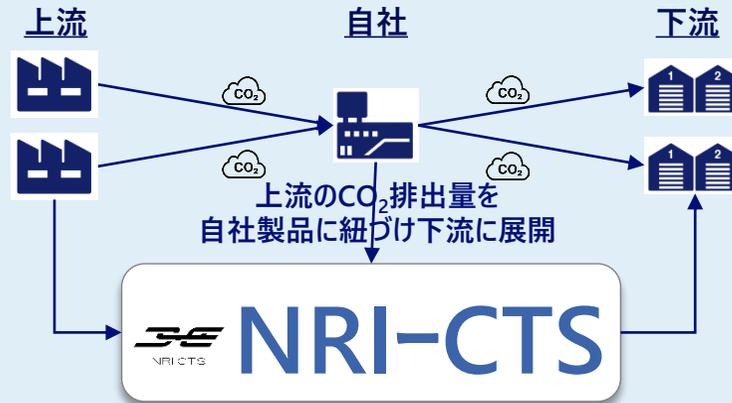
デジタル
プラットフォーム

企業による排出量情報の活用イメージ

CO₂フリー商材
の提供

クリーンモビリティ・
物流の展開

インターナル
カーボンプライス



NRI-CTSは、各社の
温室効果ガスの実測値
に基づいた、正確性の
高い情報をタイムリーに
共有できるソリューション

炭素排出量トレーサビリティプラットフォーム

I DX3.0事業 背景と概要

- 1 なぜ今、社会課題解決事業なのか？
- 2 NRIが取り組むDX3.0事業とは？
- 3 NRIが挑戦する「デジタル社会資本」の創出とは？
- 4 **社会課題解決を市場化するためには？**
- 5 NRIらしい事業化アプローチとは？

II 事例のご紹介『森林クレジットにおける取り組みについて』

コード変革とは？

デジタル社会資本の整備だけでは市場は起ち上がらない
新市場を創出するにはコード変革が必要

社会課題



コード変革

コードとは？
ルール、商慣習、
価値観など

×

デジタル
社会資本

新規市場
創出



Airbnbはコード変革に能動的に関与しながら新市場を創出

民泊市場が関わる社会課題

-  インバウンド増加
-  空き家、空き室の増加
-  多様化する宿泊体験ニーズへの対応

新市場の創出（民泊の施設・居室・事業者数）

	2018年	2022年
 認定施設数	1,915	3,300
 認定居室数	5,735	9,725
 認定事業者数	1,237	2,008

Airbnbによるコード変革の例

- 宿泊施設内に24時間人材常駐が必須のため、民泊向け施設が限定的
- Airbnbは、ホスト・行政の両者同時並行で調和的な取り組みを実施
 - ホスト向けの説明会のコーディネート
 - 自治体への条例改正案の提示

旅館業法の改正

- 宿泊施設にフロントの設置や立入検査を必須とする旅館業法を自治体が認めた場合、適用を除外する特例措置を施行
- 多様化する宿泊ニーズに対応した宿泊施設の提供が可能に

コード変革とデジタル社会資本の活用により、民泊市場が約2倍に拡大

社会課題



コード変革

コードとは？
ルール、商慣習、
価値観など

デジタル 社会資本

新規市場 創出



インバウンド 増加

空き家、空き室
の増加

多様化する宿泊
体験ニーズへの
対応

- 京都市の条例改正への能動的関与
- 旅館業法改正への寄与

- 空き家、空き室を有するホストと旅客のマッチングプラットフォーム
- 従来とは異なる宿泊施設を体験できるサービス

民泊市場が
約2倍に拡大

NRIは4つの領域に着目して、コード変革に挑戦

① 労働人口減と省力化

労働人口減社会において産業発展を促すコード変革



② 地球環境の持続

環境の持続可能性維持を経済発展に転化するコード変革



③ 社会制度の刷新

市民生活の利便性・安全安心を向上させるコード変革



④ 都市・地域インフラの革新

インフラの持続可能性・サービス向上を目指すコード変革



DX3.0の取組 = デジタル社会資本 × コード変革

コード変革軸

デジタル社会資本軸

	①労働人口減と省力化	②地球環境の持続	③社会制度の刷新	④都市・地域インフラの革新
ソーシャルDX	<ul style="list-style-type: none"> 年収の壁・支援強化パッケージ 	<ul style="list-style-type: none"> 脱炭素価値の市場化 	<ul style="list-style-type: none"> マイナンバーによる民間サービスの高度化・効率化 	<ul style="list-style-type: none"> 地方銀行による地域産業育成パートナーシップ
バリューチェーンDX	<ul style="list-style-type: none"> 物流最適化・省力化 顧客接点サービス向上に集中できるDXの促進 	<ul style="list-style-type: none"> 森林由来のクレジット創出と流通促進 サーキュラーエコノミーの実現 	<ul style="list-style-type: none"> 事業者向けデジタル連携基盤の社会実装 	<ul style="list-style-type: none"> 過疎地域における生活必需品バリューチェーンの確保
インフラDX	<ul style="list-style-type: none"> 社会インフラ維持管理の省力化 	<ul style="list-style-type: none"> 脱炭素の促進と透明性を保証するPFの普及 	<ul style="list-style-type: none"> マイナンバーによる行政サービス高度化・効率化 	<ul style="list-style-type: none"> エイジフリー・モビリティ社会の実現

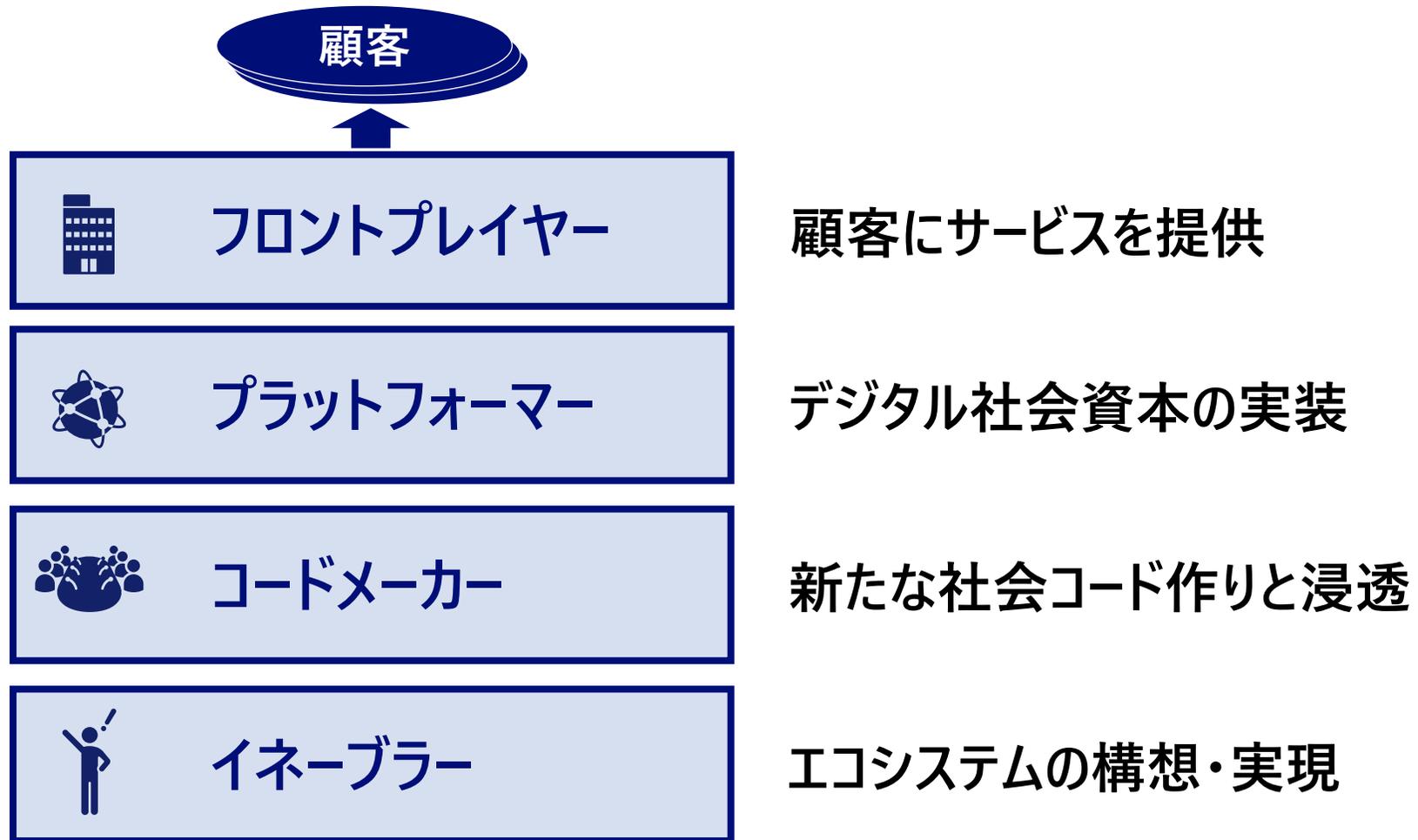
I DX3.0事業 背景と概要

- 1 なぜ今、社会課題解決事業なのか？
- 2 NRIが取り組むDX3.0事業とは？
- 3 NRIが挑戦する「デジタル社会資本」の創出とは？
- 4 社会課題解決を市場化するためには？
- 5 NRIらしい事業化アプローチとは？

II 事例のご紹介『森林クレジットにおける取り組みについて』

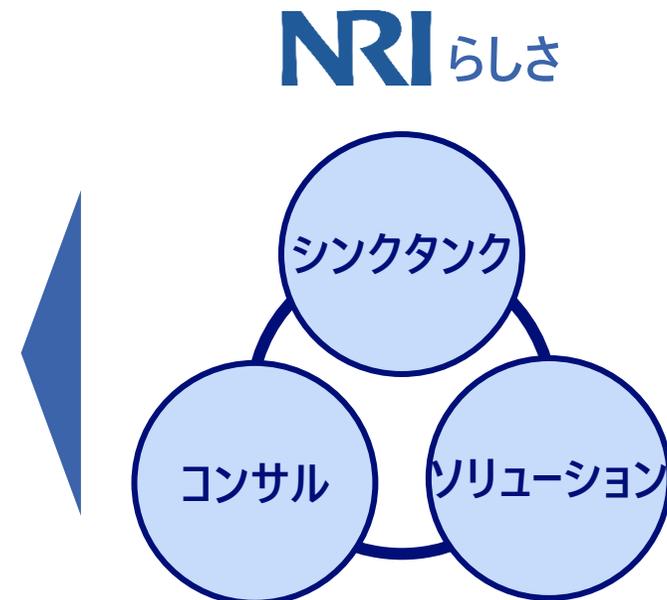
社会課題解決を事業化するためには、4階層エコシステム形成が有効

NRIが考える4階層エコシステム



NRIは「プラットフォーム」と「イネーブラー」で4階層エコシステム形成をリード

NRIが考える4階層エコシステム



DX3.0の取組 = デジタル社会資本 × コード変革



デジタル社会資本軸

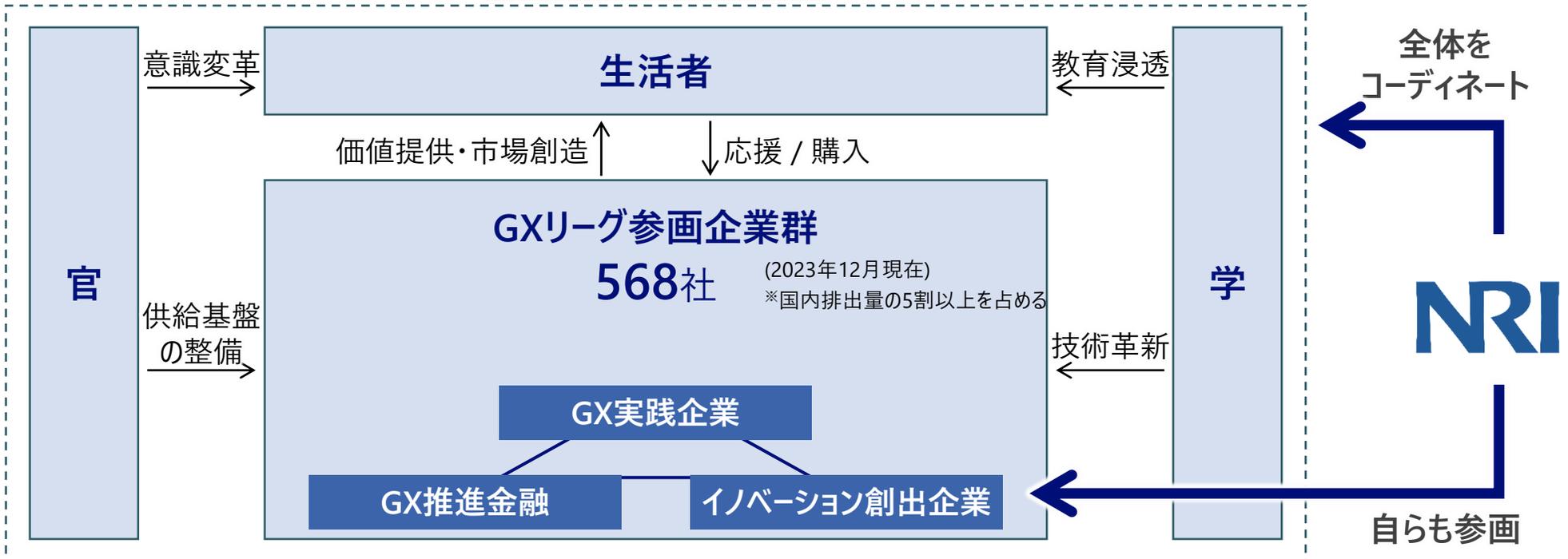
	①労働人口減と省力化	②地球環境の持続	③社会制度の刷新	④都市・地域インフラの革新
ソーシャルDX	<ul style="list-style-type: none"> 年収の壁・支援強化パッケージ 	<p>事例1</p> <ul style="list-style-type: none"> 脱炭素価値の市場化 	<ul style="list-style-type: none"> マイナンバーによる民間サービスの高度化・効率化 	<ul style="list-style-type: none"> 地方銀行による地域産業育成パートナーシップ
バリューチェーンDX	<ul style="list-style-type: none"> 物流最適化・省力化 顧客接点サービス向上に集中できるDXの促進 	<p>事例2</p> <ul style="list-style-type: none"> 森林由来のクレジット創出と流通促進 サーキュラーエコノミーの実現 	<p>後半のセクションでご紹介させていただきます</p> <ul style="list-style-type: none"> 表装 	<ul style="list-style-type: none"> 地域における生鮮食品バリューチェーンの確保
インフラDX	<ul style="list-style-type: none"> 社会インフラ維持管理の省力化 	<ul style="list-style-type: none"> 脱炭素の促進と透明性を保証するPFの普及 	<ul style="list-style-type: none"> マイナンバーによる行政サービス高度化・効率化 	<ul style="list-style-type: none"> エイジフリー・モビリティ社会の実現

NRIはGX[※]リーグでコーディネーターとして中心的役割を担う

※グリーン・トランスフォーメーション

- GXリーグ：経済産業省が主導してGXへ取り組む企業群を後押しする枠組み
- NRIはGXリーグの事務局を務め、**全体のコーディネーター**として企業の多様なニーズを、政策に反映（2023年度現在）

GXリーグ推進の枠組み



GXリーグでは、プラットフォームとイネーブラーとして、NRIの強みを発揮

GXリーグでの取り組み

社会課題解決： 国内の経済界・産業界の脱炭素化の促進

生活者 + 取引先



フロントプレイヤー

GXリーグ参画企業

- ・自身の脱炭素化の実現
- ・脱炭素化商材・サービスの提供



プラットフォーム

経産省 + NRI

- ・排出量取引プラットフォーム
- ・GX参画企業の脱炭素化戦略データベース



コードメーカー

経産省 + GXリーグ参画企業

- ・官民共同型のルール形成



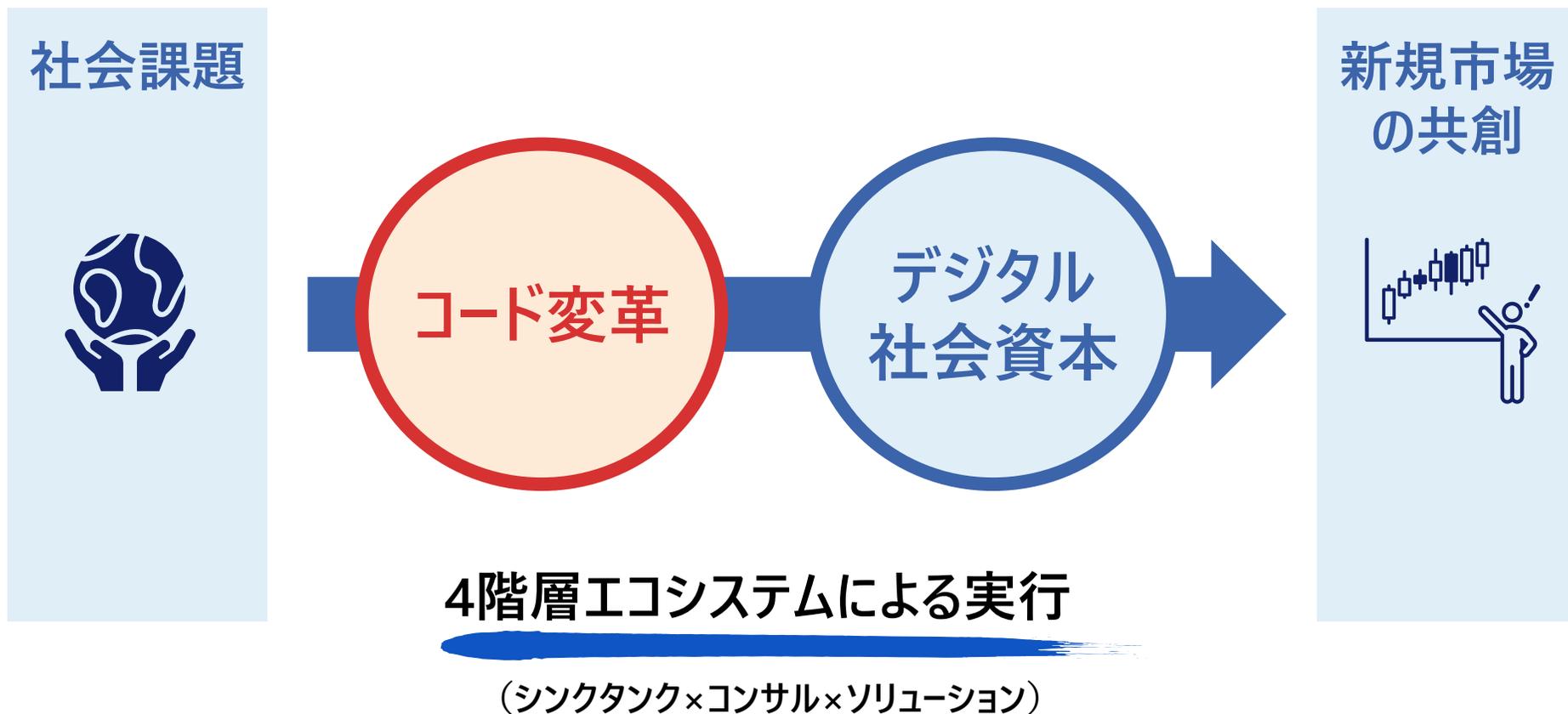
イネーブラー

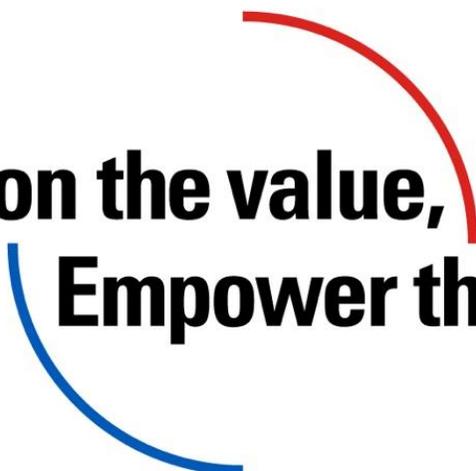
経産省 + NRI

- ・GXリーグの枠組みの設立
- ・GXリーグ参画企業の“巻き込み”と牽引

まとめ

DX3.0は『コード変革』と『デジタル社会資本の実装』による課題解決事業。
NRIは『4階層エコシステム』を形成することにより再現性高く実現していく





**Envision the value,
Empower the change**